

埋蔵文化財分布調査報告書

—四国横断自動車道建設に伴なう—

1974・3

高知県教育委員会

埋 藏 文 化 財 分 布 調 査 報 告 書 (四国横断自動車道建設に伴う)

(追加分)

番号	物別 登録 番号	種類	内 容	所 在 地	面積
追	332	遺物包含地	船戸遺跡	土佐市平原船戸	
〃	326	"	寺山遺跡	土佐市蓮池 寺山ヶ前	
〃	331	経塚	四方寺経塚	土佐市波介 四方寺	
〃	323	城 跡	蓮池城山北面遺跡	土佐市蓮池 (蓮池城山北 側斜面)	
〃	326	"	蓮池城山南面遺跡	土佐市蓮池 (蓮池城山南 斜面)	
〃	325	城跡・遺物 包含地	蓮池城跡及び勝賀野次 郎兵衛塗敷跡	土佐市蓮池	
〃	342	遺物包含地	波介西本村遺跡	土佐市波介 西本村	
〃	352	古 墳	般谷古墳	土佐市波介 般谷	
〃	314	窯 跡	大ノ場窯跡	土佐市高岡町 大ノ場	
〃	309	遺物包含地	野田遺跡	土佐市高岡町 野田	
〃	319	"	明宮寺遺跡	土佐市高岡町 明宮寺 (市役所東側)	
〃	324	"	明宮寺大古遺跡	土佐市高岡町 明宮寺大古 (高岡中学校)	
〃	350	"	波介万福寺遺跡	土佐市波介 万福寺	

番号	物別 登録 番号	種類	内 容	所 在 地	面積
追	322	遺物包含地	地頭名遺跡	土佐市高岡町 地頭名	
〃	333	"	初田遺跡	土佐市高岡町 初田	
〃	336	"	池の谷遺跡	土佐市蓮池 池ノ谷	
〃	335	"	今ヶ谷遺跡	土佐市蓮池 今ヶ谷	
〃	358	古 墳	大サルバミ古墳	土佐市塚地 大サルバミ	
〃	353	遺物包含地	轟岐山遺跡	土佐市用石 轟岐山	
〃	351	"	フケ遺跡	吾川郡志野町 轟岐山フケ	
〃	334	城 跡	森山城跡	吾川郡志野町 森山	
〃	362	"	西炮城跡	吾川郡志野町 西炮城跡	
〃	315	寺 院 跡	大寺廃寺跡	吾川郡庵堵町 西分大寺	
〃	321	遺物包含地	山根遺跡	吾川郡志野町 秋山 山根石塁敷	
〃	366	城 跡	仁ノ城跡	吾川郡庵堵町 仁ノ字西山	

例　　言

1. 本書は高知県教育委員会が国庫補助金を受けておこなった埋蔵文化財の分布調査報告書である。

2. 調査地区は次の路線についてである。

名 称 四国横断自動車道
 区 域 須崎市多ノ郷～南国市領石
 延 長 42km
 調査面積 約84km²

3. この調査に関係した市・町は次のとおりである。

調査地区	距離 km	面積 km ²
須崎市	2.5	5.0
土佐市	16.0	32.0
伊野町	5.0	10.0
高知市	13.5	27.0
南国市	5.0	10.0
計	42.0	84.0

4. この調査にださわった専門調査員および調査員は次のとおりである。

専門調査員 12名	
氏 名	住 所
岡本健児	香川郡伊野町駅東町77
広田典夫	高岡郡佐川町乙1784
片岡謙介	香川郡伊野町元町
永橋綾夫	高知市福井2202
門脇道夫	高知市星頭655
前田和男	高知市中須賀227
武田善臣	高岡郡越知町五区
橋田庫欣	中村市有岡1678
木村剛朗	中村市右山
西本則夫	須崎市東古市町4-22
門脇若夫	香美郡夜須町岸本
宅間一之	香川郡春野町芳原

市町村調査員 7名		
須崎市	香崎和平	須崎市原町一丁目1の23
土佐市	角谷和男・岡本・前田・武田がこれに援助した。	
伊野町	渋谷純男	吾川郡伊野町北内
高知市	専門調査員である広田・片岡・永橋・門脇・岡本に委嘱	
南国市	武田勝	南国市上野田645
	広田典夫	高岡郡佐川町乙1784
	角谷和男	高知市朝倉丁1807弘田方
	岡本健児	吾川郡伊野町駅東町77
地図作製補助者 3名		
高知大学	角谷和男	高知市朝倉丁1807弘田方
高知女子大学	川崎賀子	高知市城北町39米原方
*	加藤良子	高知市九反田13
担当事務局 (県文化振興室 4名)		
室長	熱海則夫	
文化財係長	宮地哲弘	
	田村勝彦	
	竹松光暉	

5. 図面对照番号は全国遺跡地図(高知県) -1973年版-に集録されているものと同一にした。

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(2)	372	城跡	畦田城跡 山城で連接式。室町中期、城の標高124.1m。保存は良好である。	須崎市吾井郷乙2170	本丸の広さ254m ² 二の丸の広さ165m ² 民
(2)	370	遺物包含地	弘岡乙丸遺跡跡 弥生式土器片・敲石・磨製石斧が発見され、弥生中期末。集落址であろう。遺物を包蔵しているので注意を要す遺跡である。高地性集落址か?	須崎市吾井郷甲738	民 80m×40m
(2)	371	遺物包含地	山添遺跡 台地上の遺跡で、現在畑。この遺跡は弘岡音九遺跡に近い。かつて有掘式石剣の単独出土地である。	須崎市吾井郷甲 640~660	民 50m×50m
(2)	374	産業交通土木に関する遺跡	名護屋坂旧道 山腹にある江戸初期～明治末期までの旧道。石だみが残り、周辺に当時の埋蔵文化財を包蔵するように考えられる。遺跡の高さ80m～120mである。須崎市保護文化財。	須崎市神田	公 長さ42m 幅2m (全長82m)
(2)	375	墳墓	飛田の角塔婆 明応五年銘の供養碑とみられる。塔婆下は未発掘、山腹にある。砂岩製。須崎市保護文化財。	須崎市神田32	民 2m×2m
(2)	373	遺物包含地	坂本遺跡 明治28年、銅鉢2本発見。山腹の畑が遺跡。見はらし良し。未発掘の遺跡である。	須崎市神田1729	民 30m×20m
(2)	367	墳墓	市野々遺跡 丘陵端にあり、かつて古銭（洪武通宝・大觀通宝）土師製土器、青磁製土偶、人骨出土せり。中世墳墓とみられる。	土佐市市野々	民
(2)	360	遺物包含地	江良沢遺跡 現在道路下に遺跡は存在す。土器（弥生後期）・瓦器（鎌倉時代）を出土す。低地遺跡である。	土佐市東鶴地江良沢 椎の木和田	公
(2)	359	遺物包含地	本村遺跡 低地遺跡で、弥生後期と中世の複合遺跡。中世関係では土師製土器と土鍊出土。	土佐市本村宮地	民
(2)	357	遺物包含地	徳安繩文遺跡 海拔40～50mの谷間の段丘上の遺跡。	土佐市西鶴地徳安	民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(2)	354	遺物包含地	縄文式土器片を発見す。開発の場合は発掘を要す主要遺跡である。 徳安弥生遺跡 前記(10)の遺跡に近い。ここも(10)と同様に開発の場合はとくに記録保存を要す。	土佐市西鶴地徳安仁井田ノ内	民
(2)	355	遺物包含地	二宮神社近傍遺跡 市道およびその両側の遺跡で、(10)(11)の遺跡とは相接す。縄文時代の石斧・石槍発見せり。事前調査を必要とする。	土佐市西鶴地徳安仁井田の内二宮神社近傍	公(市)
(2)	356	遺物包含地	和田山遺跡 丘陵端にあり、室町時代の土師製土器が多く出土す。現在畑。	土佐市甲原	民
(2)	343	遺物包含地	鍛冶屋ヶ端遺跡 丘陵突端の遺跡で畠。弥生式土器・土師器を包含する。	土佐市甲原中川内鍛冶屋ヶ端	民
(2)	344	遺物包含地	入沢遺跡 低湿地遺跡。弥生～奈良・平安ごろまでの土器片を出土す。泥炭化せるシイ・カシの堅果、モモの種実なども出土したことがある。水田一部畠、宅地でもある。	土佐市甲原入沢	民 100m×100m
(2)	349	遺物包含地	久保田遺跡 水田に遺跡がある。多くの土器片の散布する遺跡。土器片は土師質の細片である。	土佐市甲原中川内久保田	民
(2)	348	墳墓	中川内中世墓地 丘陵端にあり、皇朱通宝などの発見せる中世墓地遺跡である。現在は山林である。	土佐市甲原中川内	民
(2)	347	遺物包含地	森光遺跡 段丘上の弥生遺跡で弥生式土器片を包含する。	土佐市甲原中川内森光	民
(2)	346	遺物包含地	竹ヶ鼻遺跡 段丘下の遺跡で、弥生式土器・土師器・管玉を包含する。土師器・管玉は古墳時代とみられる。	土佐市甲原中川内竹ヶ鼻	民
(2)	345	遺物包含地	成仏遺跡 畠の表面からも、また一部は道路敷からも土器片出土す。土器は土師製	土佐市甲原中川内成仏	民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(3)	308	古墳	土器で中世時代のもの。 宮の谷古墳 須恵器片が散布しているが、横穴式石室はすでに破壊して、あとかたもない。	土佐市高岡町宮ノ谷	民
(3)	305	遺物包含地	鳴川遺跡 土佐市の主要な弥生遺跡。弥生中期末、土器・敲石・石斧など出土、開発には事前に調査の要があり、高地性集落址か?	土佐市高岡町鳴川大西	民 100m×50m
(3)	306	遺物包含地	お太子遺跡 付近にビニール・ハウス多し。平安時代の須恵器片散布せり。	土佐市高岡町字お太子	民 50m×100m
(3)	298	遺物包含地	八幡遺跡 古墳時代の須恵器を出土せるが、その包含は余り多くないとみられる。	土佐市高岡町八幡(八幡神社)	民
(3)	289	遺物包含地	新田遺跡 泥炭地遺跡で、かつて丸木舟や須恵器が発見されている。そしてなお遺物を包含する可能性のある遺跡である。	伊野町八田字新田	国 50m×50m
(3)	290	遺物包含地	觀音ノ平遺跡 山腹の遺跡で、遺跡は畑および山林、古墳時代後期の須恵器が出土している。古墳であったが、石室は破かれてしまったのかもしれない。	伊野町八田字觀音ノ平	民 30m×30m
(3)	288	遺物包含地	觀音ノ平遺跡 山麓の遺跡で、現在は道路敷および畑になっている。古墳時代中期の土師器を多く包含する。開発前は調査必要。	伊野町八田字觀音ノ鼻	公 50m×100m
(3)	285	遺物包含地	岩瀬ノ鼻遺跡B 古墳時代中期の鉄斧・土師器等を出土する遺跡で、伊野町の主要な遺跡の1つである。	伊野町八田字岩瀬ノ鼻	国 50m×50m
(3)	284	遺物包含地	岩瀬ノ鼻遺跡A 細形劍剣の出土地、遺跡として見るべきものはなかったが、開発される時は、調査する必要がある。	伊野町八田字岩瀬ノ鼻 1664	民 10m×10m
(3)	233	古墳	枝川2号墳 発掘ずみの横穴式石室古墳・伊野町	伊野町枝川字板屋2111	民 10m×10m

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(3)	234	古墳	文化財に指定されている。 枝川1号墳 発掘ずみの横穴式石室古墳であるが伊野町の指定文化財で保存を必要とする。	伊野町枝川字石ヶ崎3132	民 10m×10m
(3)	232	古墳	枝川3号墳 未発掘の古墳であるが、近く発掘し伊野町文化財に指定される予定である。	伊野町枝川字板屋2231	公 5m×5m
(3)	231	古墳	朝倉古墳 県指定の横穴式石室古墳である。また県下三大古墳の一つでもあり、その石室の作りは美しい。保存すべき古墳である。	高知市朝倉宮の奥	公(県・市) 30m×10m
(3)	223	寺跡	旧宗安寺廃寺 宗安寺—伊野線に面した台地中腹にあり、現在は畑である。小字テラチとあるが、果してこれが宗安寺創建当時のものかどうかは今後の検討をまたねばならない。	高知市宗安寺テラチ	民 30m×25m
(3)	348	遺物包含地	水汲谷遺跡 現在畑で水汲谷に面した舌状台地の斜面である。石斧・石臼・打製石鎌・石錐等弥生中期の多くの遺物を出土している。城山第二遺跡とも呼ばれる。	高知市朝倉水久谷	民 15m×5m
(3)	239	城跡	朝倉城跡 高知県指定の史跡であって、現在竹林と畑である。室町時代の山城で、城八幡と空堀が残っている。山城として代表的なもので、是非残したいものである。	高知市朝倉城山丁	民 100m×100m
(3)	237	遺物包含地	城山第3遺跡 国道33号線に面した城山北斜面の弥生中期遺跡。また遺跡は野中兼山の娘野中綱の屋敷跡でもあるので保存すべきであろう。	高知市朝倉丙2006 (城山野中綱屋敷址)	民 (高橋節)
(3)	230	遺物包含地	赤鬼山遺跡 赤鬼山自体が高知県史跡として保護されているが、この山林中に、とくにその東南斜面に弥生中期末の遺跡	高知市朝倉宮ノ前朝倉神社裏高知貯水池用地	民 15m×25m

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(3)	240	遺物包含地	城山第1遺跡 がある。赤鬼山は古代の神奈備として保存すべきであろう。	高知市朝倉北城山高知県果樹試験場内	公(県) 200m × 30m
(3)	246	古墳	谷古墳 消滅 前期古墳(円墳)であったが、今は開いてない。	高知市朝倉南城山谷	民
(3)	227	城跡	宍田城跡 室町時代～安土桃山時代の山城。空堀が残っている。宅地に造成中(昭和49年3月14日現在)であり、城跡にあった御堂は宅地造成のため引越している。	高知市大谷	民 20m × 30m
(3)	225	古墳	塚の原2号古墳 現在蜜柑畑。山の中腹、南側斜面、古墳側壁とみられる石が数個畑の中に残っている。古墳でも後期のもの。	高知市塚の原	民
(3)	218	城跡	鴻ノ森城跡 室町時代から安土桃山時代の山城で、鴻ノ森山頂(299.5m)にある。土壘がよく残り、階段状に本丸・二ノ丸などがある。山頂は一部公園化している。	高知市福井町	公(市)
(3)	221	遺物包含地	舟ヶ谷遺跡 弥生中期末の遺跡で、袋状の谷の東南斜面の下にある。現在みかん畑で49年冬にはブルドーザーで掘るとの事。要注意、從来舟ヶ谷と言われたが正しい地名は大屋敷である。	高知市福井町奥福井大屋敷1937番地	民(徳弘春江) 15m × 5m
(3)	226	古墳	塚の原1号古墳 山の斜面で谷に面する南裾にあるが今は古墳上にあった小社と古墳の側壁とみられる岩石1個を残すのみで原形がなくなっている。横穴式石室墳であった。	高知市塚の原	民
(3)	228	遺物包含地	上本宮町遺跡 拡張した道路と宅地との境界が遺跡	高知市上本宮町7の5	民(大谷美登) 2m × 2m

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(4)	610	住居跡	で、鏡川に面した台地上端である。道路拡張で旧状はないが、弥生時代などの石斧が2本発見されている。 杓田遺跡 小丘陵上の古墳時代の住居跡がかつて発見されている。現在は宅地である。かつて土師器・粗製小形土器も発見されている。	高知市杓田字目の輪	民
(4)	585	遺物包含地	横内遺跡 台地上の後期弥生遺跡である。現在は畑である。近くまで人家の波がおしよせてきていて、要注意の遺跡である。	高知市横内	民
(4)	547	遺物包含地	中の谷遺跡 中の谷の東斜面で川床に近い。現在休耕田である。非常に大形の蛤刃磨製石斧が発見されている。石斧は表面採集ゆえに、遺跡範囲は明確でない。	高知市福井奥福井 中の谷	民 (徳弘和男)
(4)	586	遺物包含地	からーと口遺跡B地点 弥生式土器・石庵丁を出土し、從来からーと口遺跡と呼んでいたが、本当の地名はカワダ山である。谷水田にのぞむ弥生中期末の遺跡とみられる。	高知市福井カワダ山 北斜面 岡村昌道氏 (福井2343の畑)	民 (岡村昌道) 5m × 5m
(4)	588	遺物包含地	からーと口遺跡A地点 カワダ山山頂(標高69.2m)に近い北斜面の遺跡。谷水田をのぞむ弥生中期末の遺跡で弥生式土器・石庵丁・石斧などがかつて出土している。	高知市福井カワダ山 北斜面 岡村昌道氏 (福井2343の畑)	民 (岡村昌道) 20m × 3m
(4)	588	遺物包含地	高知学園裏遺跡 丘陵台地上の遺跡で、現在は畑。かつて磨製石斧・弥生式土器が発見されている。	高知市福井高知学園裏 (福井町2343番地のすぐ上)	民 15m × 5m
(4)	584	旧墳	福井古墳 山の斜面で現在畑。横穴式石室古墳で、かつて須恵器が出土したが、今は消滅していない。古墳のあった山丘はまだ1部残っている。	高知市福井小字奥福井 舟ヶ谷	民
(4)	548	城跡	嘉武保宇城跡 カンボウと呼ぶ。台地上にある中世	高知市福井町	民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地	面積
(4)	540	城跡	末の山城で現在宅地造成中である。昭和49年3月26日現在で山が半分の高さまでけずりとられている。 万々城跡 舌状台地上の中世の山城である。現在は雑木林で城の遺構はよく残っている。保存ないしは事前発掘調査をすべき城跡である。	高知市万々	民
(4)	544	遺物包含地	初月遺跡 初月地区久万川提防構築の際、数多くの石庭丁と弥生式土器の出土があった。ただ残念ながらそのこまかい地点は詳細にはわかっていない。	高知市初月柿内橋付近	国(河川)
(4)	522	古墳	宇津野2号古墳 盛土(円墳)は取り除かれ、天井石は露出しているが、石室は完形に近い形で残っている。横穴式石室である。山の南斜面裾に築かれ、葬道は南面し開口す。未発掘の古墳である。	高知市宇津野(泰泉寺) 薬社境内	民 (神社境内) 10m×15m
(4)	521	古墳	宇津野1号古墳 葬道西側の側壁は残っている。玄室の天井石は3枚であるが、1枚は玄室内に落ち込んでいる。葬道口は南東を向き開口す。山の斜面・竹籠の中にあり。山裾に近くこれまた未発掘の古墳である。	高知市泰泉寺宇津野64番地	民 (日比幸雄) 10m×10m
(4)	516	遺物包含地	宇津野遺跡 宅地跡の空地が遺跡で、舌状台地の中腹である。楽水寺の地名からかつては寺址とも考えられる。高知市では珍らしい縄文時代の磨製石斧と敲石が出土している。	高知市宇津野樂水寺	民 30m×30m 加賀井家裏庭
(4)	534	古墳	迎小寺址古墳 宅地であって宅地造成中に破かれ、現存しない。山の東斜面にあって、横穴式石室墳であった。須恵器が出土している。	高知市泰泉寺迎小寺址	民
(4)	537	古墳	土居前古墳 山の南斜面中腹にあったが、現在は破かれされて現存しない。有名な片岡健吉の墓所の隣りにあった。現在	高知市泰泉寺東谷 土居前	民 (片岡家所有)

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(4)	515	古 墳	は墓所と山林となっている。横穴式石室墳であった。 淋谷古墳 本古墳も求めし、蜜柑畑になっている。横穴式石室墳であって、須恵器（長頭壺・碗）を出土している。それらの須恵器は南国市教委が持っている。山の東斜面にある。	高知市秦泉寺字淋谷	民
(4)	518	古 墳	日の岡古墳 相当以前に畠地にする時に開墾して横穴式石室古墳はなくなった。山の南西斜面に円墳としてあったという。	高知市秦泉寺吉弘 日の岡	民
(4)	520	古 墳	開古墳 一部宅地で一部山林である。山の斜面裾にあって、竹藪になっている。玄室の長さ4.2m・羨道3.1mの中形の横穴式石室墳。石室は完形に近い形で保存されている。円墳でかつて須恵器が出土している。高知市保護史跡に指定されている。	高知市秦泉寺吉弘 261の3 15m×15m	民 (浜田虎吉)
(4)	519	遺物包含地	北秦泉寺遺跡 遺跡自体は七ツ瀬神社西方の平地にあるが、現在は宅地化し、出土地点は道路になっている。有柄石剣と磨製片刃石斧を出土した重要な遺跡である。	高知市北秦泉寺53番地	民 (野村信秀) 1m×1m
(4)	514	古 墳	仁井田神社東側古墳 山の中腹斜面にあって、現在は蜜柑畑となっている。片袖式の小形古墳で横穴式石室である。円墳である。小形の古墳ではあるが、良く保存されている。須恵器が発見されている。発掘ずみである。	高知市秦泉寺仁井田	民 (和田幸喜) 7m×7m
(4)	523	城 跡	前里城跡 現在は墓地である。舌状台地上にある山城で、室町時代末期から安土桃山時代にかけてのものである。ごく近くまで宅地化の波がおしよせてきている。	高知市前里	民
(4)	510	城 跡	秦泉寺城跡 桜ヶ丘レジャーランドに近い山城で	高知市秦泉寺田の内	民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(4)	512	城跡	ある。舌状台地上に立地し、現状は畠一部は山林となっている。山城ではあるが井戸もあり、城八幡も残っている。十六世紀代のもので、重要な山城である。 一宮城跡 一宮中学校背後の山城であって、台地上に立地している。現在は竹林であるが、一部は雜木林になっている。近くの開発が進んでいるので、要注意の城跡である。16世紀代のものである。	高知市一宮	民
(5)	506	城跡	菊野城跡 城跡は山林中になっている。その立地は山櫻といったがよからう。16世紀代における山城で、とくにいくつかの空堀が残っている。緊急の場合は測量と発掘をする。	高知市菊野	民
(5)	517	古墳	一宮2号古墳（神社西方古墳） 山の南斜面裾にあって、現在の国道32号線を作る時、こわされてしまった。その天井石は土佐神社前の記念碑に使用されている。大形の横穴式石室墳であった。	高知市一宮土佐神社西方	民
(5)	505	古墳	一宮1号古墳（神社東北古墳） 山の南斜面の裾にあった円墳・横穴式石室墳であったが、宅地化のため消滅してしまった。現在は宅地となっている。その宅地化は文化財保護法施行前である。	高知市一宮土佐神社東北（東天神）	民
(5)	502	古墳	蒲原山古墳 蒲原山（標高145m）の頂上よりやや南面の山林中にある。玄室天井石3個が露出、その上に山道が通っている。天井石の間から玄室内部が見えるが、人が入ることは困難、羨道口は南面している。未発掘の古墳である。	南国市岡豊町蒲原字蒲原山	民 20m×18m
(5)	507	城跡	布師田金山城 近くに四国トラックターミナルがある。十六世紀代の山城であって、山	高知市布師田達坂跡	民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(5)	478	古墳	頂に位置する。山城のあるところは疎林である。 長欽古墳 山林(檜の樹林)中にあり、丘陵尾根近くの東斜面にある。横穴式石室古墳である。玄室・羨道部の天井石はなくなっているか、玄門付近・羨道部は未発掘未調査の古墳である。	南国市岡豊町定林寺 長欽	民 (中沢孝雄) 20m×20m
(5)	484	古墳	芝の前古墳 山の斜面にみられる完形の古墳で前面に竹籠がみられる。横穴式石室古墳で両袖式・玄室内は床面まで約50cm土砂が埋り、羨道部でも約1m土砂で埋まる。須恵器・鐵刀が出土したというが、発掘すればまだ出土する可能性あり。	南国市岡豊町定林寺 芝の前	民 (森本氏) 20m×18m
(5)	480	古墳	野津古墳 円墳が完全な形で残っている。墳丘後方に大木がある。山林中の古墳である。未発掘・未調査の古墳とみられる。野津古には他に二基の古墳があったが、これは今はない。	南国市岡豊町定林寺 野津古墳ヶ井402	民 (中沢治喜) 18m×18m
(5)	503	遺物包含地	中小蓮遺跡 旧水田であるが、現在は荒地になっている。国立高知医大建設予定地で事前発掘調査をする遺跡である。須恵器散布地で古墳時代の集落址があるものとみてよからう。100m×100mの範囲は推定である。	南国市岡豊町小蓮山崎 45	公(県) 100m×100m
(5)	508	遺物包含地	黒領遺跡 国分川デルタにある低湿地遺跡で、かつて木杭とともに末期弥生式土器が出土している。現在は畑である。木杭も数多く出土したといふ。	高知市布師田黒領	民
(5)	487	遺物包含地	小野遺跡 須恵器が一面に散布している遺跡で、集落址関係とみてよからう。山の斜面を整地した水田が遺跡である。	南国市岡豊町小蓮小野	民 150m×150m
(5)	485	遺物包含地	梅の本遺跡 独立丘陵の北斜面に立地し、現在は畑である。弥生時代の大形蛤刃石斧	南国市岡豊町小蓮 梅の本946	民 (西岡正義) 15m×7m

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
			が発見されている。弥生時代の遺跡である。		
(5)	488	古 墳	小蓮蓮如寺古墳 県指定の横穴式石室墳で、石室も墳丘もしっかりとしている。絶対に保存すべきものである。発掘済須恵器・中空玉・金環・鉄刀子・鉄鎌・辻金具・革金具・骨・鏡が出土している。	南国市岡豊町小蓮 光岩1221	民 (島崎春馬 松木勝) 20m × 15m
(5)	486	古 墳	天神の前古墳 独立丘陵の鞍部に築造せる円墳で未発掘の古墳である。内部構造は不明だが、たぶん横穴式石室とみられる。開発される段階では事前に調査を要す古墳である。	南国市岡豊町小蓮 天神の前1234	民 (島崎春馬) 15m × 15m
(6)	449	古 墳	舟岩14号古墳 舟岩山の南斜面。みかん畑、横穴式石室墳、出土須恵器。	南国市岡豊町笠川 大平山	民 10m × 10m
(6)	452	古 墳	舟岩17号古墳 山斜面中腹、横穴式石室墳。みかん畑開発中須恵器出土。	南国市岡豊町小蓮池谷	民 10m × 10m
(6)	501	城 跡	岡豊城跡 国の史跡、長宗我部元親の城。本丸より中世陶器、二の丸より中国宋明錢数枚・土師式土器・茶臼・鉄片・瓦などを出土する。重要な城跡で井戸もある。	南国市岡豊町	民 (福田義郎) 100m × 100m
(6)	440	古 墳	瀧戸古墳 横穴式石室のみ残り、(玄室長さ3.3m。玄室中央幅1.8m) 美道口は水田の石垣の一部になっている。玄室の天井石の一部は落ちている。開発される場合一応の調査を必要とする。	南国市岡豊町笠の川 瀧戸696	民 (比原氏) 4m × 2m
(6)	446	古 墳	舟岩16号古墳 大平山の中腹東斜面、横穴式石室古墳、須恵器・飾金具・大刀出土。	南国市岡豊町笠の川 大平山	民
(6)	458	古 墳	舟岩古墳群(池谷古墳) 消滅 舟岩山と挾間にはさまざまな斜面で6基の小古墳があったという。みかん畑開発中破かいさ	南国市岡豊町小蓮池谷 (6基)	民

図面番号	図面対照番号	種類	内 容	所在地(施行箇所)	面積
(6)	447	古 墳	れた。 舟岩13号古墳 円墳で内部構造は不明、上部には樹木と竹篭が生い繁っている。未発掘未調査の古墳で、開発には事前に調査が必要である。	南国市岡豊町笠の川	民 15m×15m
(6)	453	古 墳	舟岩4号古墳 発掘調査後に消滅す。 消滅 土師器・須恵器を出土す。小形古墳。	南国市岡豊町舟岩	民 10m×10m
(6)	450	古 墳	舟岩1号古墳 調査ずみの古墳、須恵器・土師器・金環・銀環・丸玉・鉄刀・鉄鎌・刀子・櫛・杏葉・雲珠・辻金具・革金具など出土す。横穴式石室は今後保存したいものである。	南国市岡豊町舟岩1410	民 (岡崎光治) 15m×15m
(6)	451	古 墳	舟岩2号古墳 発掘調査ずみの古墳。横穴式石室は残っている。須恵器・銀環・大刀・鉄鎌・刀子・櫛・鏡が出土する。また子持壺・子持高杯も出土している。	南国市岡豊町	民 8.5m×8.5m
(6)	455	古 墳	舟岩3号古墳 発掘調査ずみの横穴式石室 墳、舟岩古墳群中最大の規模の横穴式石室墳。石室は現存す。須恵器・銀環・銅・鉄鎌・刀子・櫛が出土す。	南国市岡豊町	民 20.5m×20.5m
(6)	454	古 墳	舟岩5号古墳 調査後に古墳は消滅した。 消滅 須恵器・土師器・銀環・管玉・刀子・鉄鎌・櫛が出土す。	南国市岡豊町	民 9.3m×9.3m
(6)	479	古 墳	舟岩15号古墳 山の稜線の鞍部にある。前方後円墳とみられる。後円部径28m 前方部長さ12mで高さ 3.5m。未調査古墳である。近いうちに測量調査をすべきで、また発掘をし保存すべき古墳であろう。	南国市岡豊町小蓮浜間	民有一部県有地
(6)	456	古 墳	舟岩6号古墳 発掘調査をした古墳。横穴式石室と墳丘が残っている。須恵器・土師器・銀環・曲玉・管玉・切子玉・小玉・鉄鎌・飾金具が出土している。	南国市岡豊町	民 15m×10m

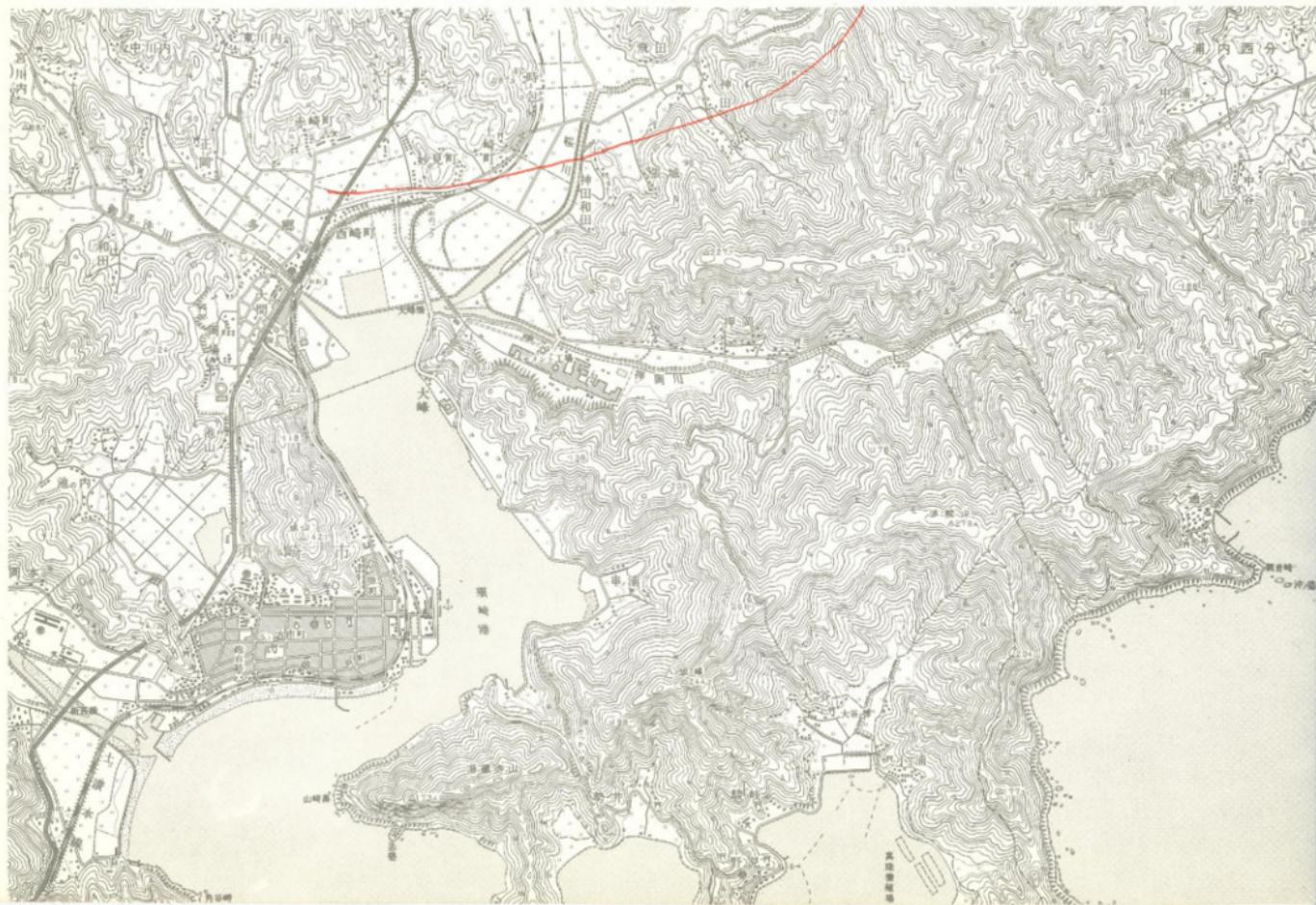
図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(6)	441	古 墳	構ヶ首古墳 消滅	山の斜面の畑にあった古墳。県道(笠の川～重倉線)拡張でこわされる。須恵器出土。	南国市岡豊町笠の川柳首 公(県)
(6)	457	古 墳	舟岩7号古墳 消滅	調査すみ、須恵器・土師器出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 民
(6)	459	古 墳	舟岩8号古墳 消滅	発掘すみ、須恵器・土師器・金環・銀環・鉄刀・鉄刀子・鐵鏡・馬具・砥石出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 25m×20m 民
(6)	460	古 墳	舟岩9号古墳 消滅	発掘すみ、須恵器・土師器・金環・刀子・轡出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 10m×10m 民
(6)	469	古 墳	舟岩10号古墳 消滅	発掘すみ、須恵器・土師器・銅・鐵鏡・飾金具出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 民
(6)	470	古 墳	舟岩11号古墳 消滅	発掘すみ、須恵器・土師器・銀環出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 10m×10m 民
(6)	461	古 墳	舟岩12号古墳 消滅	発掘すみ、須恵器・銀環・鉄刀・鐵鏡・轡出土。	南国市岡豊町笠の川大平山 10m×10m 民
(6)	501	古 墳	米内古墳	丘陵上の円墳。椭円形をなし(10.9m×8m)である。石室の天井石は1個、側石も上部は取除かれているが、石室の下部プランは調査すれば判明する。	南国市岡豊町八幡米内754神地 12m×10m (おひげ様を祭る神地) 民
(6)	482	古 墳	藏本古墳	昭和47年の集中豪雨で漢道部が切断されたように破損した。次に豪雨があれば古墳全部が崩壊するおそれがあるので、早い機会の調査が必要であろう。山の斜面にあり。	南国市岡豊町八幡藏本小字山中後1006の2 (秦泉寺啓恵) 10m×10m 民
(6)	448	遺物包含地	西村遺跡	葛目正幸氏の宅地内から、多くの土師器・須恵器を出土する。古墳時代の集落関係のものと思われる。	南国市岡豊町笠の川西村574番地 5m×10m (葛目正幸) 民
(6)	439	窯 跡	窯 跡	灰捨場は現在池の中である。須恵器の窯跡として重要。	南国市岡豊町大字笠の川小字楓谷 40m ² 民

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(6)	475	遺物包含地	国分寺西北遺跡群1 水田なれど現在転作して植木。須恵器(平安時代)土師製土器(中世)が一面に散布している。	南国市国分輪ノ木 772番地 774番地	民 (島井守衛) 6m×3m
(6)	442	古墳	左右山古墳 現在みかん畑、古墳は消滅している。古墳からは銀鏡・須恵器が出土した。左右山の鞍部で南斜面。	南国市左右山ハザマ谷 670	民 (島井繁子) 10m×20m
(6)	463	遺物包含地	国分遺跡群b 現在は畑で、須恵器(平安時代)・土師器(中世)が散布し、なおかつ弥生式土器も散布する遺跡である。	南国市国分井ノ元872	民 (泉健二郎) 15m×20m
(6)	471	遺物包含地	国分遺跡群c 現在は畑で、弥生式土器も発見されている。それに土師器・須恵器(平安時代)・土師製土器(中世)も一面に散布している。	南国市国分井ノ元 869の1 869の2	民 (竹村信喜) 15m×20m
(6)	476	遺物包含地	国分寺西北遺跡群2 現在水田である。ここも須恵器・土師製土器が多量に散布している。これらは平安~室町時代にかけてのものである。	南国市国分塙田760	民 (竹村信喜) 8m×7m
(6)	443	遺物包含地	左右山遺跡 左右山の鞍部で南斜面・弥生式土器片が発見されている。いまは消滅している左右山古墳に近い遺跡である。	南国市左右山ハザマ 谷山670	民 (島井繁子) 10m×20m
(6)	464	遺物包含地	国分遺跡群a 竹籠の裏の畑が遺跡で、土師器・須恵器・土師製土器・古備前摺鉢などが散布する。古墳時代~平安時代~室町時代の遺跡である。	南国市国分十郎屋敷 970の2	民 (竹村貞美) 5m×5m
(6)	477	遺物包含地	国分寺西北遺跡群3 水田であるが、現在は畑に転作している。平安時代の須恵器・中世の土師製土器が一面に散布する遺跡である。	南国市国分塙田752	民 (竹村信喜) 6m×10m
(6)	483	遺物包含地	国分寺西北遺跡群5 ここもかつては水田であったが転作して畑になっている。須恵器(平安時代)土師製土器・古備前焼破片(中世)が数多く散布している。	南国市国分戸島481 番地	民 (竹村昭喜) 8m×14m

図面番号	図面対照番号	種類	内容	所在地(施行箇所)	面積
(6)	492	遺物包含地	国分寺西北遺跡群B 遺跡は畑と水田にある。国分寺西北遺跡群の特色として、須恵器・土師器・土師製土器・古備前焼を多く散布する点は同一である。	南国市国分嶺島 471番地 472番地	民 (竹村昭喜) 15m × 6.5m
(6)	481	遺物包含地	国分寺西北遺跡群4 水田。須恵器(平安時代)・土師製土器・備前焼(中世)を多く散布する遺跡である。国分寺西北遺跡群は発掘しないとわからないが、緊急事態に対しては事前調査でよいと思う。	南国市国分嶺島	民 (竹村昭喜) 10m × 15m
(6)	497	遺物包含地	国分寺西北遺跡群6 ビニール・ハウスに接する水田が遺跡である。ここでも須恵器・土師器・古備前焼を多く散布している。	南国市国分奥ク	民 (岩原寅男) 6m × 4m
(6)	462	遺物包含地	国分遺跡群f 散布遺跡で発掘していないが、包含地とみられる。須恵器・土師器・古備前焼・摺鉢等を散布するので、平安時代～室町時代の集落関係遺跡とみられる。	南国市国分ノツゴ922	民 (岩原孝寿) 12m × 8m
(6)	465	遺物包含地	国分遺跡群dと。 d地点とe地点は相接する遺跡で、分け難いが所有者は異なる。須恵器・土師器・古備前焼・古備前焼摺鉢が散布している。平安時代～室町時代の集落関係の遺跡であろう。	南国市国分野中1032 の1	民 d地点 20m × 10m (岩原猪之助) e地点 6m × 8m (高知市塙屋 崎町 山崎美智)
(6)	495	遺物包含地	国分寺西北遺跡群A 国分寺の西に接する遺跡で、須恵器・土師器・土師製土器・古備前焼摺鉢・土鍋などを散布する。国分寺に接する遺跡としても重要である。	南国市国分奥ク 455 456 457	民 (高橋八重子) 20m × 25m
(6)	496	寺跡	土佐国分寺跡 国の史跡。まだ発掘調査は本格的に行われていない。寺域からは古瓦などを出土する。もっとも保存すべきものである。	南国市国分国分寺境内	民 (国分寺) 200m × 200m

- 注1. 高知県は山林深く、また平野部での土砂の堆積が深い。そのため表面よりの遺跡の認定が難しい。道路開通工事において、上記以外の遺跡・埋蔵文化包藏地が新発見されることは当然予想され得る。
2. 古城跡については、すべてのものを記載せず現段階において埋蔵地と推定され、開発と関連のあるもののみを挙げた。

須崎



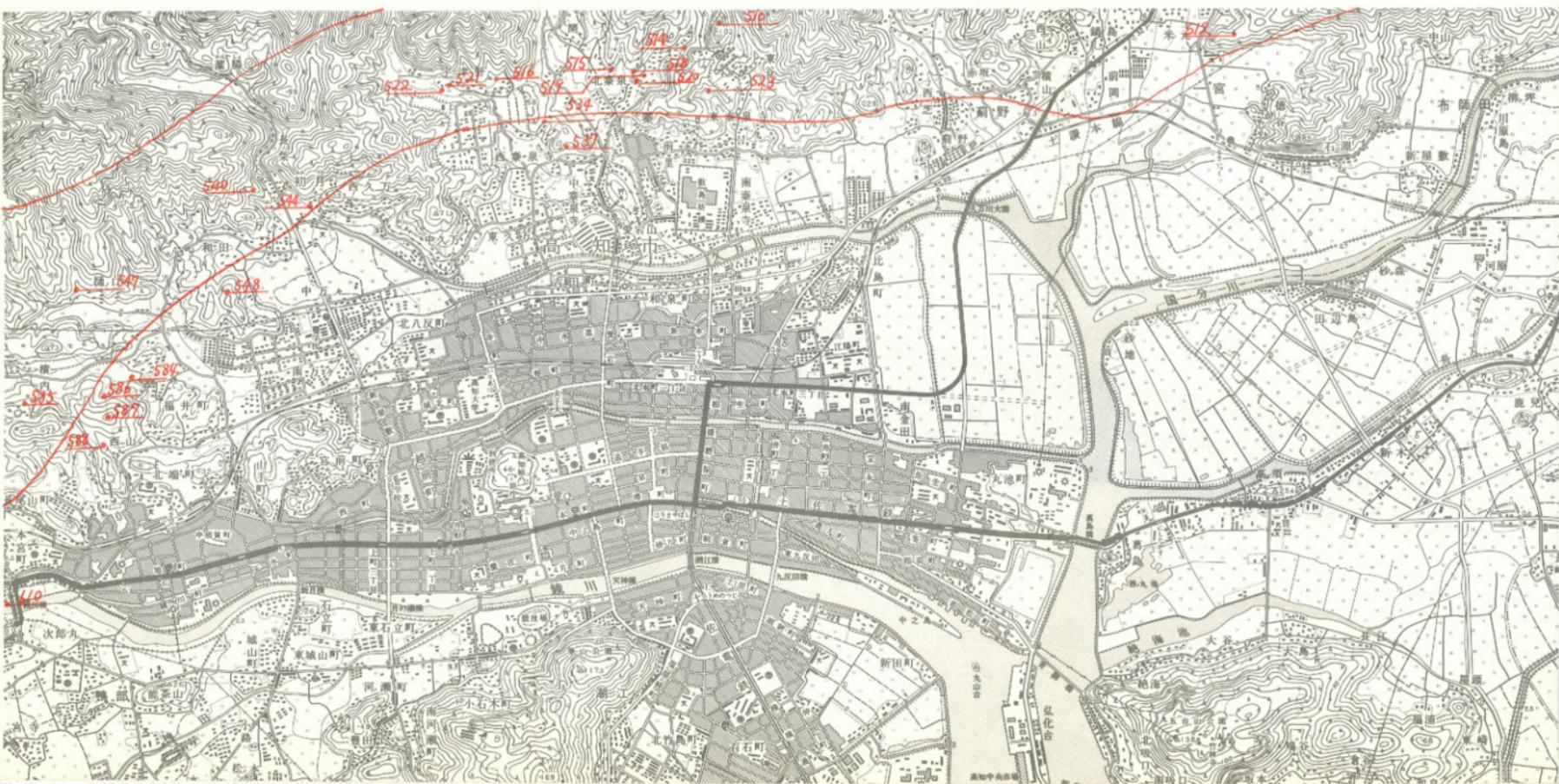
伊野



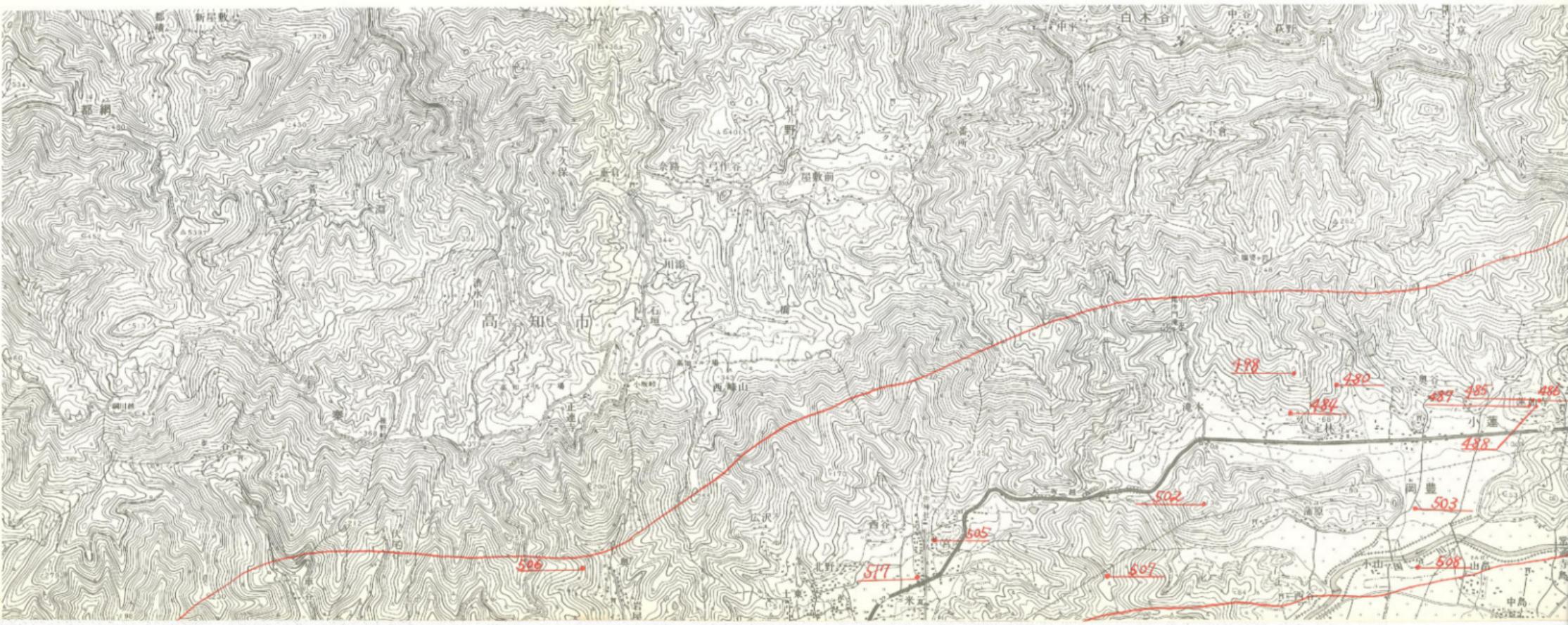
佐川



高 知



土佐山



山 田

